



『信頼と愛とで築く地域医療』

『思いやりで支える地域福祉』



[宮城県女川町]

大生水野クリニック 10周年イベントのお知らせ

キッチンカーと健康相談による地域交流イベント開催
災害対策と地域への関わり
12年目を迎えた復興支援（表紙写真）

ご近所探訪・第2弾 押絵のまつむら

尚寿会グループの通所サービス

～『押絵のまつむら』さん～



ここは尚栄会福寿の里の近くにあるお店「押絵のまつむら」さん。彩り豊かな押絵羽子板が店主松村さんご夫妻、愛猫3匹とともに迎えてくれました。近頃は小売りもやっていて、これらの羽子板も購入できるとのこと。

そもそも押絵羽子板とは、絵柄を部分ごとに割り綿を入れ布でくるみ貼り重ねて立体的に仕上げた押絵を羽子板に付けたもので、古くは平安時代までさかのぼるという歴史ある伝統工芸品。お正月やひなまつりで魔除けや子どもの成長を願って飾られます。浅草の羽子板市も有名ですし、毎年末には話題の人を題材にした「変わり羽子板」をご存じの方も多いのでは？松村さんもその催しに関わっているそうですよ。

昨今こうした日本の伝統は時代に合わせて簡素化・多様化が進み、松村さんもこの先どう継承していくか思案続きだとか。さらに東日本大震災や新型コロナウイルス感染拡大の影響も受け、受注減などの痛手を

被っているとのこと。しかしその痛手を強みに変えられないかと新たな取り組みを開始。一つは似顔（面相）の技を生かすこと。お客様のリクエストに応え、お孫さんやペットなどの似顔押絵羽子板を手掛けました。写真を貼ったと思ってしまいうくらい、筆で描いた似顔の精巧さ。似顔描きは押絵のパーツをすべて付けた最後に精神統一してから筆を入れるという最も緊張する工程。こうして出来上がった作品に感涙するお客様も。二つ目はパソコン知識の習得。羽子板よりも少しお手軽な雑貨としての押絵作品をネットにて販売。お客様が求めるものは何か？を常に意識しているそうです。作業場では人形の髪の毛をつける工程を見せてくださったのですが、スガ糸とのりを扱う熟練の技には作品に対する愛情が溢れていました。かたわらで過ごす看板猫たちがその姿を静かに見守っていたのが印象的。

羽子板はもちろん「押絵」の伝統は残したい

押絵のまつむら

住所 〒350-1315 埼玉県狭山市北入曽 1940-4
電話 04-2958-8794



と情熱を注がれる松村さん。時代に沿ったあり方を目指しているのは医療や介護にも共通していると感じ、ご近所ががんばっている方がいると思うと励まされる思いでした。みなさまもぜひ訪れてみてくださいね！



編集後記

尚寿会・尚栄会の新しい広報誌が無事にVol.2の発行となりました。今回は広報誌がなぜ「しんあい」となったのか、名前の由来について書かせていただきます。大生病院は昭和54年「信愛病院」という名で老人病院を開設しています。大生病院の前身があったことやこの病院名だったことを知っている方は少ないかもしれません。何せ私の生まれる前のこと。初心を忘れないという意味や歩んできた歴史を尊重する意味でつけた一方で、しんあいのしんには「新、心、親、信」という意味を込め、あえてひらがなにすることで多様な意味を含められるようにしました。これまでの歩んできた歴史とともに、新しく、真心を込めて、親しみやすく、信頼を得る法人となりますように。これからの「しんあい」をどうぞご愛顧いただきますようお願いいたします。 編集長 なみ

大生水野クリニック 10周年イベント

【日時】2022年11月5日（土）10:00～14:00

※雨天中止

【場所】大生水野クリニック南側せせらぎ公園内駐車場

（詳細は当院ホームページで9月頃よりご案内します）

大生水野クリニックホームページ <https://taiseim-cl.jp>

※新型コロナウイルスの感染状況により中止となる可能性がございます。
詳細はホームページでお知らせ致します。



大生病院通所リハビリテーション 野の花

TEL: 04-2957-1141 開所日: 月～土（祝日有）

当事業所では
9～15時、10～
16時の2コース
に分けて6時間
ご利用いただい
ています。



リハビリに力
を入れており、理学療法士4人と作業療法士1人によ
る1対1の個別を主として3～4人の集団リハビリや
作業活動、園芸活動も取り入れています。生活場面
では国家資格である介護福祉士を取得したスタッフが多
く、その方に合った支援をしています。食事は管理栄
養士によって考えられたメニューで、年4回のシェフ
のおもてなしランチは利用者様に好評をいただいでい
ます。入浴サービスもご利用可能です。



泌尿器科

腎臓、膀胱、前立腺、尿道、
睪丸等を専門としており、排
尿の悩みや血尿、尿管結石、
勃起不全（ED）等のご相談
に応じております。

泌尿器科

また自主的なリハビリへの移
行を目指し、自宅内で行える
ストレッチや筋トレなどの指
導にも力を入れていきます。

歯科・歯科口腔外科

虫歯や歯周病の治療、入れ
歯の作成、様々な顎口腔領域
病変の診断・治療を行って
おります。また埋伏智歯（親
知らず）の難抜歯、歯性感染症、
良性腫瘍や嚢胞病変等の口腔
外科治療も行っており、近隣
の歯科クリニック様からのご
紹介も多く頂いております。
大生病院との連携によりCT・

MRIの画像精査も迅速に行
う事ができます。
大生水野クリニックでは、全
ての診療科において、症状に
よっては隣接の大生病院や連
携している医療機関と協力し、
外来のご紹介や入院の相談を
行っております。
問い合わせ…
〒350-1317
埼玉県狭山市水野49-19
☎04-2957-0501

「大生水野クリニック 10周年イベント」を行います

今年で開院10周年を迎える大生水野クリニックが
地域の皆様へ感謝を込めて特別なイベントを企画しています



大生水野クリニックは、開
院当初より尚寿会の理念であ
る「信頼と愛とで築く地域医
療」のもと、クリニック理念
である「自分の家族ならどう
しようか」という思いを元に
診療を行っており、2012
年12月3日に開院してから、
今年で10周年を迎えます。こ
れも地域の皆様はじめ、た
くさんの方に支えて頂いたか
らこそと思います。

そんな感謝の意を込めて10
周年イベントを企画してあり
ます。イベントでは、健康に
関するブースやキッチンカー
を出店予定です。当院に来院
されている皆様はもちろん、
来院されたことのない方でも
どなたでも参加できるイベン
トとなっておりますので、皆
様ぜひお越しください！

大生水野クリニック 診療科のご案内

耳鼻いんこう科

新生児から高齢者まで、幅

広い年代の方の耳・鼻・喉・
首の異常やめまい、飲み込み、
睡眠時無呼吸等の症状のご相
談に応じております。画像診
断や内視鏡を駆使した目に見
える診療を心掛けております。

整形外科

スポーツで痛めてしまった、
加齢的な変化での痛み等、レ
ントゲンや場合によっては大
生病院との連携によりCT・
MRI検査をし、診療を行っ
ております。また必要に応じ
てリハビリテーションの指示
を行っております。

リハビリテーション科

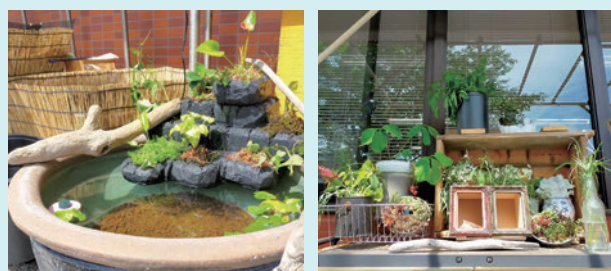
医師の指示のもと、理学療
法士・作業療法士が患者様に
一人ひとりに合わせたプログ
ラムを作成し、徒手療法・運
動療法・物理療法などを実施
していきます。具体的には硬
くなった関節・筋肉を動か
したり、筋力強化、動作練習
などを行い痛みの原因を改善
していきます。

あさひ病院デイケア

認知症のある方を対象とした医療保険のデイケアです。医師、看護師、作業療法士、公認心理士、介護福祉士の専門職を常時配置しており、認知症のある方が穏やかに過ごしていただける場、生き生きと活動できる場を目指し、アプローチしています。

要支援や要介護などの認定を受けていない方や、既に介護保険のサービスをご利用されている方も併用してご利用いただけます。見学やお試しのご利用大歓迎です！お気軽にご相談ください。

あさひ病院デイケア TEL：04-2957-1010
営業日：平日 月～金（土日祝はお休み）
利用時間：9:30～15:30
食事・入浴・送迎：提供あり



して、9月には〈狭山市立広瀬児童館〉と共同で子どもたちと高齢者の交流を目的に敬老会イベントも開催予定となっております。好評でした介護予防体操教室は9月の開催で計画中です。今後もつむぎから地域へ発信できるように取り組みを進めてまいります。

す。要支援・要介護の認定を受けている方が、目標に向けて運動を行い、明るく・楽しく過ごせる場所です。お身体や生活の中で困っている方・不安を感じている方は是非、お気軽にご相談下さい。随時、見学なども対応いたしますので、お待ちしております。宜しくお問い合わせ下さい。

〒350-1319
埼玉県狭山市広瀬2-3-23
TEL 04-2902-6811



メディカルデイつむぎ & 在宅サポート 21 狭山訪問介護ステーション (サテライト) キッチンカーと健康相談による 地域交流イベント開催



2022年4月、尚寿会として、初の狭山市広瀬での2つの大きなイベントを開催しました。

キッチンカー&健康相談・筋力測定会

当日は快晴となり、昼にかけて気温が上昇・気分も上昇。今回は感染対策のため、全て食べ物はテイクアウト、健康ブースでは検温や手指消毒を行い、安心・安全なイベントを開催しました。



にも取材していただきました。メディカルデイつむぎをご利用されている方も多く来場していただきました。「歩いてきたよ」「天気いいね」「いっぱい買ったよ」などの会話もあり、普段とは違う表情が見られ、よい外出の機会になったと思います。



体操教室《ひろせにここ広場》に12名の地域のみなさんが集まりました。そして柏原・水富地域包括支援センターのスタッフも参加していただき、満員御礼です。

体操教室

《ひろせにここ広場》

今回は『転倒予防』をテーマとして「どこで転ぶ？いつ転ぶ？なんで転ぶ？など」を説明して、みなさんの柔軟性やバランスをチェックしました。そして体操前後の体の変化に気づき、実感して、みなさん「凄いいろ嬉しい」など、驚きあり笑顔もあり。良い雰囲気です。楽しく一緒に体操することができました。

今回の取り組みで、地域のみなさんに「運動の場・外出の場・コミュニティの場」が提供できました。これからもいろいろとチャレンジしていく中で、夏には第2弾として体操教室を開催します。

オレンジカフェ「のどか」待望の再開！

●今年度の開催日時
7/23(土)13:00～15:00(開催済み)
11/26(土)、3/25(土)
10:00～11:30

●場所
医療法人尚寿会 あさひ病院
1階作業療法室（※以前開催されていた場所と変更になっていますのでご注意ください）

●参加費：無料
●お申し込み：事前申し込みが必要となります。あさひ病院オレンジカフェのどか担当までご連絡ください。その他のお問い合わせはこちら（Tel：04-2957-1010）までお願いします。日時の変更は随時あさひ病院のホームページでお知らせを掲載しますのでご確認ください。



オレンジカフェ「のどか」再開

オレンジカフェ「のどか」は2019年に福寿の里内にあるカフェのどかにてオープンし、地域の方が集う場として少しずつ根づいてきました。コロナ禍で中止せざるを得ませんでしたが、この度2022年7月に再開いたしました。

オレンジカフェとは

認知症の方やそのご家族が安心して過ごすことができ、情報交換や相談が出来る場です。介護・医療の専門職、地域の方など誰でも気軽に参加することが出来ます。

あさひ病院主催のオレンジカフェ「のどか」の特徴

認知症の人とご家族の方を対象に認知症のプチ講座や、ものづくりを通してリラクゼーションをした雰囲気の中、様々な相談に乗っています。また、介護事業者の専門職を対象に「ちよこつ相談室」も併せて行っています。日々の生活での困りごとや今後の不安、認知症の人と関わる中での対応の工夫など看護師や医療相談員（精神保健福祉士）、作業療法士が協力して運営をしているからこそ、幅広いご相談に乗ることが出来ます。是非お気軽にご参加ください。

老健愛通所リハビリテーション 6月リニューアルオープン

老健愛は短時間通所リハビリとして利用者様の自立支援のための「マシントレーニング」や「100歳体操」や「言葉と嚥下のリハビリ」を提供しています。これまで一日4コース制でしたが、ご要望の多かった時間帯に多くご利用いただくために1コースあたりの時間を少し伸ばして3コース制となりました。リハ専門職がお一人おひとりに合わせたメニューを作成し、こころとからだ元気になるリハビリを明るいスタッフが提供します！

平日・祝日営業

①コース 9:00～10:40
②コース 10:40～13:50(昼食付)
③コース 13:50～15:30(火曜のみ「言葉と嚥下のリハビリ」専門コース含む)

住所：狹山市水野596
問い合わせ：04-2957-0666

※入浴サービスの提供はありません。



Instagramはじめました♪



rouken.ai

介護老人保健施設 愛

●TEL 1002 ●通話 408
0499(5)9451

♡💬📍

こんにちは🌞

埼玉県狹山市にある
介護老人保健施設 愛です🍻

@ROUKEN_AI



老健愛ではInstagramの公式アカウントを先月7月より開設いたしました！愛という施設をより多くの方に知っていただきたい、愛の取り組みを知ってほしい、利用者様の素敵な笑顔、真剣なリハビリの様子をみていただきたいとの想いから開設いたしました。コロナ禍でレクやボランティアに制限がかかる中、創意工夫を凝らしてレクやケアを提供しています。是非フォローをお願いいたします♪

尚寿会グループの災害対策と地域へのかかり

地震や台風等の災害はいつ起こるかわかりません。そして災害が発生すると、電気や水道等のライフラインが途絶したり、通信・公共交通機関の不通などがおこり、数時間から数日間にも影響が及ぶことも想定されます。入院されている患者様には医療的処置が必要な方もいらっしゃるで、それらの治療や処置を維持することはとても大切です。私たち尚寿会グループでは、私たちが尚寿会グループの有事への備えをご紹介します。

尚寿会グループは有事に備え、事業継続計画（BCP計画）を策定し実践しています。グループ全体の共通意識として、次のとおり行動指針を明確に定めています。

- 1 入院患者様・入所者様・通院者様の生命の安全確保
- 2 勤務職員・勤務外職員及び家族の生命の安全確保

さらにライフラインの整備も同時に進めています。

当グループ敷地内には2カ所の井水プラントの水源を確保しており、有事の際には飲料としての備蓄水と、生活用水としての井水プラントを水源とした両面から、水対策を

3 尚寿会グループのかかりつけ患者様（利用者様）の収容及び診療行為

4 近隣住民の一時収容及び診療行為／連携医療機関からの患者様受入れ

災害対策としての実例を挙げてみます。

災害発生時の帰宅困難者や通勤困難者対策として、グループ施設内の一部を待機場所として開放したり、事態が長期に及ぶ場合には職員寮やウィークリーマンション等の短期契約で宿泊にも対応できるように体制を整備しています。また、近隣住民の方の一時避難場所（待機場所）として、グループ施設（福寿の里）のひこばえホールを開放し支援出来る体制づくりにも努めています。



進めております。

電力に関しては各施設の発電機の継続運転を可能にするため、備蓄基地との緊急時配送契約を結んでおり、有事の際には軽油4000リッターを継続給油することが出来る体制を整えています。

「災害は忘れたころにやってくる」とは、今では昔の話。私たちは様々な事態を想定し、地道に準備を進めております。また、計画には完了しないものと考え、法人グループやそれを支えていただいている地域の皆様とともに、災害ダメージを最小にするための体制づくりに日々努力を重ねております。

12年目を迎えた復興支援

尚寿会グループは2011年に発生した東日本大震災の直後より、復興支援に取り組んで、今年で12年目を迎えます。

震災発生間もない頃、現地に足を運んでがれきの撤去や搜索活動に取り組む一方、地域経済の活性化も当然必須であると考え、遠く離れた狭山の地で宮城県牡鹿郡女川町を中心とした三陸の海の幸や地元の良い商品をお取り寄せて、通院通所の皆様や職員に販売して『食べて応援』の実践をしてきました。

また病院や施設、地域でのイベント時に設置した支援金箱には、今もお沢山の温かいご支援が集まっています。

尚寿会ではこれまでも、日本赤十字社や被災地域の自治体へ適宜支援金を届けてきました。

発生10年目となる2021年には『震災を風化させない』と復興支援イベントを計画しておりましたが、猛威を振るう新型コロナウイルス感染症により断念を余儀なくされました。

そのような状況もありましたが7月下旬のある日、宮城県牡鹿郡女川町に支援金を届けることができました。この女川町は壊滅的な被害を受けながらも、力強く復興スピードが早い町ということで『復興のトッパンナー』とも呼ばれています。高齢化が進む地域の中で、若い方が住みやすく、活気ある街づくりのモデルになるように、支援金を是非役立てて頂ければと思います。尚寿会グループでは、これからの被災地域への支援に力を入れて参ります！



NPO法人きらら女川